

■ 岐阜環境医学研究所・座禪洞診療所

◎ 呼吸器疾患・腫瘍治療・漢方相談

診 察 日：月曜・木曜・金曜

受付時間：9:00~12:00、

〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16

IP Tel:058-295-9545

FAX:058-296-3903

E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

http://zazendoh.town-web.net/

第128号 2014.11.1.

毎月1回発行 座禪洞診療所 松井英介

# 座禪洞だより



## 福島県知事選、克隆さんの決断

松井英介

2014年10月26日投票された福島県知事選開票結果は、当490,384 内堀雅雄 129,455 熊坂義裕 29,763井戸川克隆（以下略）。投票率は45.85%で過去二番目に低かった（27日付東京）。約54%の県民は投票しなかったことになります。有権者が約160万人ですから、民主と社民が担ぎ自民が相乗りした前副知事内堀氏の得票は三分の一にも届いていません。

元双葉町長井戸川克隆さんは、約3万票を獲得しました。3.11東電福島第一原発大惨事以降、親しくお付き合いするようになった者のひとりとして、ここでは克隆さんと呼ばせていただきます。

双葉町は東電大惨事が撒き散らした膨大な放射性物質によって最も激しく汚染された町です。人口7千人ほどの町の責任者として、克隆さんは全町民ができるだけ遠くへ避難できるようにと考え、国の支援・指示がない究極の混乱の中で最大限の努力をしました。避難先として中部地方も考えたそうですが、最終的には町役場も埼玉県加須市の騎西高校に移ったのでした。

福島県下の自治体の中で唯一県外に行政の中核を移した双葉町。その後放射性物質による汚染の実態が明らかになるにつれ、克隆さんの判断が正しかったと、私は確信をもって言えるようになりました。国連グローバール勧告やIPPNW声明（放射線量の高い福島市や郡山市からの移住を提言）も彼の判断を支持しています。

ところが当初の混乱の中で、県外に移らず県内の仮設住宅や借り上げ住宅に住まざるを得なくなった双葉町民も多かったのです。知事選候補者が一堂に会する公開討論会（10月2日、福島青年会議所主催）の席で克隆さんは謝罪の言葉を述べました。それは福島県内の仮設住宅などに住む町民と話し合う努力が足らなかったことにたいする反省の気持ちだったと思います。私も、熊坂さんと政策協定を交わして対立候補を一本化できればなどと考えていた一人ですが、選挙戦を通じて自分の政策をひとりでも多くの町民・県民に訴えたいという克隆さんの決意は堅かったのです。

選挙後お宅に電話すると、奥様と子ども元気な声でした。

「内堀氏は、子どもたちから訴えられますよ。副知事時代に、仮設住宅はダメだ、汚染の少ないところへ移り住めるようにしなければ、と提案しても、耳を貸さなかったのだから。」「今度の選挙で私の訴えを聴いて、よく言ってくれたという人が各地にたくさんいた。福島県内に新しいつながりができた。ポスターも、顔写真を小さくして、政策を大きく書いたのです。」と嬉しそうでした。

ポスターのことは、「あなたは放射能から子どもを守っていますか。史上最大の事故には、史上最大の救済が必要です」。

「私は今、新しい核戦争の最前線にいます！」。郡山市に間借りしていた双葉町役場支所で聞いた克隆さんの言葉を、私は忘れられません。